

街歩き台東散歩 特別編 七福神めぐり



下町 谷中 下谷 浅草 三つの七福神めぐり

参拝すると「七難即滅・七福即生」のご利益があるとされる「七福神めぐり」。今回は、台東区の「谷中」・「下谷」・「浅草名所」の3つの七福神を巡ります。七福神めぐりは基本的にお正月に行うもので、七福神のご神像を拝観できるのは元旦から七草(7日)あるいは松の内(15日)までが一般的。この期間は(一部を除き)全ての七福神を拝観でき、それぞれ特徴ある「御朱印」も頂けます。

都内で最も古い歴史を持つ人気の七福神めぐりです!	
谷中七福神めぐり	
東覚寺~不忍池辯天堂 約5km	総時間: 徒歩で約1時間30分 (御朱印を頂く時間は含まず)
御朱印受付時間	
元旦~1月10日 9:00~17:00 (その他の日は、各社寺へお問合せ下さい)	

都内でも最も古い歴史があり、全て寺院を巡るという珍しい七福神めぐりです。北区田端から荒川区西日暮里、台東区谷中・上野と少し長めの距離ですが、寺町や下町情緒あふれる街並みを歩く人気のコースです。

谷中七福神 START

「田端駅」から約0.5km・徒歩6分
1 東覚寺(とうかくじ) 新北区田端2-7-3 ☎03-3821-1031
「谷中七福神めぐり」の起点となるお寺 【福祿寿】

山門横の護摩堂の前に立つ一対の石造金「赤紙仁王」と呼ばれています。江戸初期の建立で、自分の体の悪いところと同じ部位に赤紙を貼って祈願すると治ると、いつの頃からか言われるようになりました。祈願が成就し病が癒えた人は返礼に草鞋を奉納する習わしで、このため境内にはたくさんの草鞋が納められています。ご利益の高さがうかがわれます。

1 から約1km・徒歩12分
2 青雲寺(せいうんじ) 新荒川区西日暮里3-6-4 ☎03-3821-4241
曲亭馬琴も愛した「花見寺」 【恵比寿】

江戸時代には花見の場として賑わったことから、「花見寺」とも呼ばれていました。近くには月見寺(本行寺)、雪見寺(浄光寺)もあり、当時「ひぐらしの里」と呼ばれていたこの辺りは、文人墨客が集まったことで知られています。境内には、江戸後期の文人で『南総里見八犬伝』の作者として有名な滝沢(曲亭)馬琴の筆塚・硯塚の碑があります。

2 から約0.2km・徒歩2分
3 修性院(しゅうしょういん) 新荒川区西日暮里3-7-12 ☎03-3823-0873
320年間見守る、大きな「ひぐらしの布袋さま」 【布袋尊】

青雲寺と同様、江戸時代には四季折々の草花が楽しめたことから「花見寺」とも呼ばれていました。本堂には福德ある容姿の「ひぐらしの布袋さま」が祀られています。その余りの愛らしさに、「見とれているうちに日が暮れてしまった」という言い伝えもあるとか。寺の塀には四季をモチーフとした布袋尊のイラストも描かれていて、道行く人々に親しまれています。

ご神像の拝観や、御朱印にこだわらない方なら、七福神めぐりはいつでも可能です。天気の良い日に風景や街並みを楽しみながら、巡拝できる時間にに応じて、それぞれのコースを楽しんでください。少し距離のあるコースでは、台東区循環バス「めぐりん」を利用していても、お参りするときは歩きやすい服装で、また自分のペースとマナーを守って参拝しましょう。

※参拝できる時間はそれぞれ異なります。各社寺にご確認下さい。

3 から約0.8km・徒歩10分
4 天王寺(てんのうじ) 新台東区谷中7-14-8 ☎03-3821-4474
“江戸三富”として賑わった都内有数の古刹 【毘沙門天】

鎌倉時代に創建された古刹で、江戸時代には、目黒不動(龍泉寺)、湯島天神とともに、幕府公認の富くじ(現在の宝くじ)が興行されていたことから「江戸三富」として大いに賑わいました。比叡山からお迎えした毘沙門天を祀る毘沙門堂は、昭和32(1957)年に惜しくも焼失してしまった五重塔の残材で建てられたケヤキ造です。

4 から約0.4km・徒歩5分
5 長安寺(ちょうあんじ) 新台東区谷中5-2-22 ☎03-3828-1094
狩野芳崖の墓所がある寺 【寿老人】

不老長寿を司る寿老人を祀る長安寺は寛永9(1669)年建立と歴史の古い寺院ですが、それより400年も前の板碑(塔婆の一種)が寺内に残されています。また、幕末から明治初期にかけて活躍した日本画家で「近代日本画の父」とも言われる狩野芳崖(1828-88)の墓所もあります。

5 から約0.8km・徒歩10分
6 護国院(ごこくいん) 新台東区上野公園10-18 ☎03-3821-3906
徳川家光寄贈の「大黒天画像」を祀る 【大黒天】

徳川将軍家の菩提寺、東叡山寛永寺。寛永2(1625)年建立の護国院はその最初の子院で、鎌倉時代の公家で画家の藤原信実筆とされる大黒天画像が祀られています。画像は徳川幕府三代将軍家光(1604-51)の寄贈によるもので、江戸時代には「護国院大黒天」として大いに信仰を集め、今も多くの参拝者が訪れます。

6 から約1.3km・徒歩15分
7 不忍池辯天堂(しのばすいけんてんどう) 新台東区上野公園2-1 ☎03-3821-4638
腕8本に武具を携え仏を守る 【辯才天】

上野の山に創建された寛永寺の伽藍の一つで、七福神唯一の女神で「妙音天」の異名を持つ辯才天を本尊として祀っています。「べんてんさま」というと、身に羽衣をまとうて穏やかに琵琶を奏でている姿が思い浮かぶかと思われすが、この辯天様は那から仏を守るため、8本の腕(臂)に剣や弓、刀、矛、斧などの武具を持った「八臂大辯才天」です。



START 1 東覚寺

谷中七福神ルート

東西めぐりんバス停番号

松寿庵

谷中七福神蕎麦 880円

朝倉彫塑館

7 不忍池辯天堂

アジア雑貨ダナン

谷中七福神蕎麦 880円

“七福神めぐり”で御朱印を頂こう!

「御朱印」は、もともとは参拝者が心願を祈念し、書き記したお札やお経を神社や寺院に納めた“印”として社寺から頂く印章のこと。今では参拝した証としても授けられるようになりました。御朱印にはその社寺の“印”が押されるだけでなく、社寺名などが墨書きされます。「下町三つの七福神めぐり」では、それぞれの七福神めぐりに、オリジナルの七福神の絵が入った台紙や色紙等を購入できます。

大切なお守りとして集めてみてはいかがでしょうか。なお、お正月の七福神めぐり期間以外では、社寺によって御朱印を頂けない場合があります。また、御朱印を頂く際のお布施・初穂料、共通授与品など、詳細についても各社寺にお尋ねください。



台東区のまもり神 イメージキャラクター「台東くん」

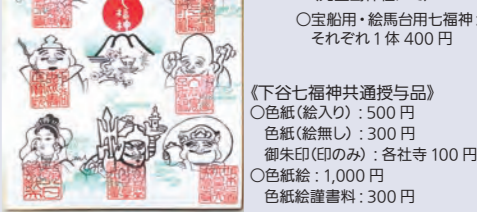


▲谷中七福神の御朱印(和紙の台紙)



○宝船(船のみ): 600円 (元三島神社にて)

○宝船用・絵馬台用七福神: それぞれ1体400円



▲下谷七福神の御朱印(絵入り色紙)



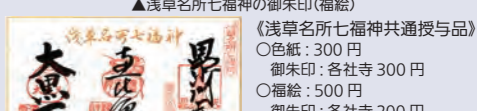
▲下谷七福神の色紙絵(色紙)



▲色紙(絵無し)



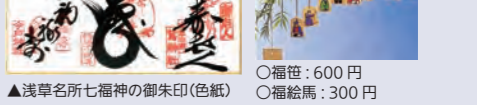
▲浅草名所七福神の御朱印(福絵)



《浅草名所七福神共通授与品》

○色紙: 300円 御朱印: 各社寺 300円

○福絵: 500円 御朱印: 各社寺 200円



○福絵: 600円 ○福絵馬: 300円

使う人・つくる人、共に幸せになる手仕事がいっぱい!

アジアン雑貨ダナン

DaNang

プラカゴ専門店

住所: 台東区谷中5-1-9
TEL/FAX: 03-3828-1288
営業時間: 13:00~17:00
定休日: 火・水曜日(不定休)

http://www.ky-danang.jp

クーポン P6 プレゼント P6

先着10名様

クレジットカード使用不可
1人1回限り利用可
会計時に提示してください
2017/2/28まで有効